

Closing Report

場所： メッセ・ベルリン/Berlin ExpoCenter City (ドイツ・ベルリン)
会期： 2024年9月24日(火) - 27日(金)
主催： メッセ・ベルリン社
開催： 隔年開催

次回 InnoTrans 2026
2026年9月22日-25日



鉄道とモビリティ業界トップの
グローバルビジネスのプラットフォーム
出展者 2,940社
来場者数 17,000人
出展者、来場者ともに大満足
数多くのビジネス案件

統計データ (2024)

出展者数	2,940/59カ国
ビジター総数	170,000人/133カ国
展示車両数	133
屋外展示レールの長さ	3,500m
ワールドプレミア	266
開催間隔	隔年

世界最大の国際鉄道技術専門見本市である InnoTrans は、2024年9月24日から27日まで開催され、第14回目の開催となった今回、来場者数など新記録を樹立しました。InnoTrans2024は、メッセ・ベルリン展示場全ての展示ホールと屋外エリア、線路エリア占め、1996年に初開催されて以来、最大の展示スペースで展開されました。

「InnoTrans2024は、展示スペースと来場者数の両方でレコードを達成しました。今年は、133か国から約17万人の来場者がメッセ・ベルリン展示場を訪れ、来場者数と国際性の点でコロナ前の水準を超えることができました。InnoTransは、輸送技術とモビリティの分野で世界をリードするメッセであることを見事に証明しました」と、メッセ・ベルリンの最高執行責任者ディルク・ホフマン (Dirk Hoffmann) 氏は述べています。

InnoTransディレクターのケルスティン・シュルツ (Kerstin Schulz) 氏は、「InnoTransは、あらためて世界の鉄道業界のプラットフォームとなりました。華やかなイノベーション展示と226件のワールドプレミアは、世界中からInnoTransを訪れた来場者を魅了しました」と述べています。

59か国から2,940の出展者が、鉄道技術、鉄道インフラ、公共交通、インテリア、トンネル建設の5つのセグメントで最新の製品とサービスを発表しました。

今年のInnoTransでは国際性がさらに高まり、約600の新規出展者が参加し、モロッコ、マレーシア、インドネシア、南アフリカなど新たな国々からも参加しました。

そしてグローバルな出展者により、3,500メートルの線路上で133台の車両が展示されました。また、サマーガーデンのバス・ディスプレイでは、来場者が500メートルのコースで実際に11台のバスを運行する様子を体験できました。InnoTrans2024の主なテーマは、持続可能性、電化、デジタル化、そして特に人工知能 (AI) でした。「AIは輸送業界でもますます重要になっています」と、ケルスティン・シュルツ氏は述べています。

この発展に対応するため、InnoTransでは、新たな展示エリア「AIモビリティラボ」を展開しました。「これはまさに正しい決断でした。AIベースのソリューションとサイバーセキュリティに対する需要は非常に大きかった」とシュルツ氏は言及しています。42社の出展者が、AI、ロボティクス、データ保護、サイバーセキュリティの専門知識を紹介しました。

InnoTrans Plus
InnoTrans 開催中も討論会、講演会、イベントなど多様なプログラムで常に情報提供されていましたが、開催後も、オンラインプラットフォームであるInnoTrans PlusでInnoTrans をご覧いただけます。

屋外展示エリアには、Hitachi Rail の ETR1000 (ヨーロッパの各種電力供給システムに対応する高速列車) や、Siemens Mobility の高速鉄道車両 Velaro、Alstom の近郊型車両 Coradia Maxや路面電車 Flexity™、CRRC の超省エネ型の近郊型車両 CINOVA、Hyundai Rotem の新しい燃料電池式トラムなどが展示されました。Stadler は、水素駆動とバッテリー駆動を組み合わせた RS ZERO を InnoTrans で初公開しました。Saarbahn (ザールバーン) のための CITYLINK は、鉄道車両で路面電車でもある都市交通向けのモビリティソリューションで、都市と周辺地域を乗り換えなしでの結合を可能にしています。Vossloh Rolling Stock は、ハイブリッド機関車 Modula BFC を出展し、異なる路線で効率的に貨物を輸送します。

また DB Bahnbau Gruppe と DB Engineering & Consulting は、360° マルチセンサー・プラットフォーム (MSP) を紹介しました。これは、複数のセンサーと計測システムを1台の鉄道保守車両に統合したもので、モバイルマッピングシステム (GNSS とレーザー スキャナー) を組み合わせて地面の3D画像を作成し、カメラが360° の周囲の画像を撮影) やオプションの地中レーダーによってレールの下部を検査します。

次回のInnoTransは、2026年9月22日から25日までベルリンにて開催されます。



日本のプレゼンス

Save the date!
InnoTrans 2026
2026年9月22日
- 9月25日

日本鉄道システム輸出組合（JORSA）がとりまとめる
日本ブース共同出展者

- 大同キャスティングス株式会社
- 日本製鉄株式会社
- 日本車輛洗滌機株式会社
- NKKスイッチズ株式会社
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）
- (公財)鉄道総合技術研究所
- 近畿車輛株式会社
- 株式会社菅沼製作所
- 株式会社京三製作所
- 大誠テクノ株式会社
- 三菱重工株式会社
- 東邦シートフレーム株式会社
- ナフテスコ株式会社
- 東京地下鉄株式会社
- 日本信号株式会社
- 東洋電機製造株式会社

(アルファベット 音順)

日本からの単独出展者

- 株式会社ビーマップ
南海電気鉄道株式会社
(共同出展)
- 株式会社カタナコーポレーション
- 富士電機株式会社
- 日立製作所
- (株) IHI
- (株) 総合車両製作所
- 倉敷紡績株式会社
- 株式会社明電舎
- 三菱電機株式会社
- 株式会社ニシヤマ
- ニッタ化工品株式会社
- 株式会社プロテリアル
- (株) タムラ製作所
- 天龍工業株式会社

(アルファベット 音順)

出展者のコメント

Michael Peter氏
/ Siemens Mobility, CEO

今年のベルリンでの InnoTrans に大変満足しています。InnoTransは大成功でした。何千人もの来場者やお客様に、Siemensの Xcelerator が標準化されたインターフェースを使用して、当社の製品、オペレーター、エコシステム パートナーからのデータを新しい方法でデジタル接続する方法をお見せすることができました。このように、鉄道輸送を最も持続可能で便利、かつコスト効率の高い輸送ソリューションにする画期的なイノベーションを推進しています。InnoTrans は、個人的な対話と協同前進に最適な環境を提供します。

Dr Richard Lutz氏
/ Deutsche Bahn AG, CEO

ドイツとヨーロッパにおける鉄道の発展、そして気候変動の抑制は、ともに達成されるべきものです。だからこそ、InnoTransでの業界内の対話が非常に重要なのです。革新的なアプローチとデジタル技術を駆使し、列車、乗り継ぎ、統合された公共交通サービスなど、乗客のために目に見える改善を行うことで、私たちドイツ鉄道は強い鉄道の実現に責任を負っています。

Henri Poupart-Lafarge氏
/ Alstom, CEO

今回の InnoTrans 2024 では、急速に進化する世界の輸送ニーズに業界がいかに積極的に対応しているかを目の当たりにしました。世界各国から多くの来場者、特にアルストムのお客様やパートナーの皆様が時間を割いて交流してくださったことに感謝しています。私たちは、交通をクリーンで、効率的で、スマートで、信頼性が高く、楽しく、すべての人がアクセスできるものにするために協力している84,000人の優秀な従業員のイノベーションを紹介できたことを誇りに思います。気候変動、急速な都市化、変化する技術的状況など、私たちが直面している課題には、一致団結したアプローチが必要であり、私たちはその道を順調に歩んでいます。InnoTrans 2024は、未来に対する私の楽観的な考えを裏付けてくれました。

Markus Bernsteiner氏
/ Stadler, Group CEO

InnoTrans2024は、Stadlerにとって大成功でした。当社のブースでは、ゲストや顧客に、最新の鉄道車両とカスタマイズされた信号およびサービスソリューションに関する当社の革新的な強みを紹介することができました。8つの車両コンセプトで、当社は再び持続可能で安全かつ信頼性の高いモビリティへの取り組みを示しました。このInnoTransでの成功裡な1週間から生まれる今後のプロジェクトやパートナーシップを楽しみにしています。

Martin Schmitz氏
/ ドイツ交通事業主協会(VDV)技術最高責任者

InnoTrans2024は、ドイツおよび国際鉄道業界の革新力を改めて印象的に示しました。業界のこの力強く前向きな姿勢を利用して、EUおよび連邦の政治家に、私たちの変革に必要な支援を強く要求すべきです。

Enno Wiebe氏
/ UNIFE事務局長

過去最大規模のInnoTransは、鉄道供給産業の能力と、未来の鉄道システムを実現する上でのその役割を印象的に示しました。公正な国際競争と他の鉄道方式との公平な競争環境、そして必要な資金と移行経路の確保により、私たちはモビリティの未来の首都であるここベルリンで発表されたものを、成功裏に展開し続けることができます。



メッセ・ベルリン日本代表部
〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56
ドイツ文化会館4F mbj (株) 内
mbj@messe-berlin.jp

